

● 今月の新着図書 ●

議会図書室からのお知らせ
R5年6月号



『僕たちのチームのつくりかた』
伊藤羊一【著】/
ディスカヴァー・トゥエンティワン (2022/11)

メンバー全員がチームのことを「自分ごと」として捉え、1人ひとりが強みを発揮し、成果を上げるチームをつくるには!? リーダーに必要な要素やメンバーとの関わり方を具体的に紹介。



『日本の進む道
～成長とは何だったのか』
養老孟司、藻谷浩介【著】/毎日新聞出版
(2023/3)

岐路に立つ資本主義、必定の「南海トラフ大地震」。経済成長なき時代を生き抜くために、解剖学者と地域エコノミストが語りつくした「いま私たちにできること」。



『自分のスキルをアップデートし続ける
～リスキリング』
後藤宗明【著】/日本能率協会マネジメントセンター
(2022/9)

「リスキリング」とは、「新しいことを学び、新しいスキルを身につけ実践し、そして新しい業務や職業に就くこと」で、主に人材戦略の一環として言われ、近年、国や企業でも取組が始まっている。現在注目される「リスキリング」を徹底解説&実践をできる1冊。



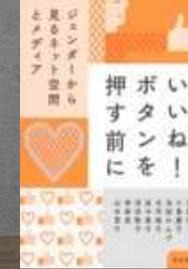
『わかしわかし あるところに
ウェルビーイングがありました』
～日本文化から読み解く幸せのカタチ』
石川善樹、吉田尚記【著】/KADOKAWA(2022/11)

日本文化は幸せになる秘訣の宝庫だった! 予防医学研究者とニッポン放送アナウンサーの最強タッグが、日本に合った「ウェルビーイング」の本質にゆるゆると迫る。



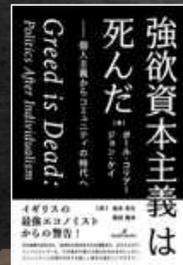
『新世代オープンイノベーション
JR東日本の挑戦 ～生活者起点で
「駅・まち・社会」を創る』
入江洋、原田裕介【著】/日経BP (2023/2)

JR東日本が約130社と取り組んだ新世代オープンイノベーションをまとめた1冊。生活者視点で「駅、まち、社会」を創る、変える活動から探る事業開発のヒント。



『いいね! ボタンを押す前に～ジェンダーから見るネット空間とメディア』
李美淑、小島慶子、白河桃子 他【著】/KADOKAWA
(2023/2)

私たちがスマホを手にして10年ちょっと。ネット空間はまだ欠陥だらけ。炎上しない、無意識に差別しないためには? SNSという言論空間で冷静な対話をするために身につけておくべき知識を集めたガイドブック!



『強欲資本主義は死んだ
～個人主義からコミュニティの時代へ』
ポール・コリアー、ジョン・ケイ【著】/KADOKAWA
(2023/2)

必要なのは独善的リーダーでも株主主権の強化でも国家による中央集権化でもなく、地域コミュニティや多様な中間組織の再生だ。資本主義とコミュニティ共存への処方箋。



『チャイルド・デス・レビュー ～子ども
の命を守る「死亡検証」実現に挑む』
フロントラインプレス取材班【編著】/旬報社
(2022/11)

チャイルド・デス・レビュー(予防のための子どもの死亡検証)実現を目指し活動する遺族・医師・専門家などの闘いを追ったノンフィクション。



『お探し物は図書室まで』
青山美智子【著】/ポプラ社(2023/2)

人生に悩む人々が立ち寄った町の小さな図書室。彼らの背中を、不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトと風変わりな可愛い付録で後押しします。明日への活力と希望が満ちていくハートウォーミング小説。2021年本屋大賞第2位の文庫化。

「議会・議員」に関する書籍 (蔵書から)



『「議員に役立つ 地方創生アイデアブック」』
牧瀬 稔【著】/中央文化社 (2022/11)

地方創生を実現するために、地方議会議員は具体的に何をすればよいのか？Iターン、Uターン人口を獲得し、自分達の「まち」の魅力度をアップするためのアイデア・戦略を具体的に解説した書。



『リクルートOBのすごいまちづくり 議員という仕事』
かもめ地域創生研究所【編】/ CAPエンタテインメント (2022/6)

リクルート出身者たちは、なぜ不人気職種ランキング最下位級の「議員」を選んだのか？何が彼らを熱くするのか？仕事の実態や議員のなり方など、彼らがその本音を語る。



『“イヤな”議員になる／育てる！〜選挙のカネの話から、自治体議会改革まで』
伊藤大輔【著】/イースト・プレス (2022/2)

行政にとって“イヤな”議員は、市民にとっては“いい”議員!?議員・市民・職員、必携の書!



『自治体議員入門〜有権者の期待と議会の現実 住民自治の要となるために』
大森 彌【著】/第一法規出版 (2021/11)

行政学の第一人者であり、自治体議員の研修も行ってきた著者が、住民が信頼を寄せよう自治体の議会と議員のあり方を追求する。



『おいしい地方議員 ローカルから日本を変える!』
伊藤大輔【著】/イースト・プレス (2021/4)

地方政治はブルーオーシャンだ! ブラジルのスラム街で10年暮らした異色の現役・市議会議員が切り込む、日本を変える最短ルート!



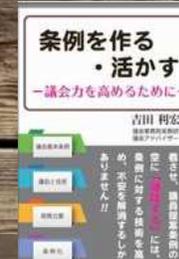
『1人から始める議会改革』
ビアンキ・アンソニー【著】/学陽書房 (2021/3)

著者、ビアンキ・アンソニー氏は、犬山市の市議会議員。氏の発案の「市民フリースピーチ制度」など、議会の新しい試みについて書かれた1冊。



『自治体議員が知っておくべき新地方公会計の基礎知識[改訂版]』
宮澤 正泰【著】/第一法規出版 (2021/3)

決算書や新公会計制度の財務書類の読み方、各種数値を使った分析手法、議会での活用の仕方について、最新の情報を得ることができる。



『条例を作る・活かす〜議会力を高めるために〜』
吉田利宏【著】/中央文化社 (2019/12)

議会アドバイザーであり、長年、衆議院法制局で法律案や修正案の作成に参画した著者が「わかりやすく」かつ「具体事例」を交えながら解説。条例に対する技術を高め、不安を解消するためのアイデアが見つかる。



『永田町政策マップ』
日本経済新聞社政治・外交グループ【編】/日経BP (2022/12)

経済安保、水素ビジネス、半導体戦略、バイオ技術、インバウンド…etc. 国会議員が日本経済をどう変えようとしているのか、未来を先取りできる1冊。

📖 R3年度～R4年度に購入した書籍を中心にご紹介しています。